予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款:衛生費 項:医務費 目:医療整備対策費

事業名 災害拠点病院施設整備費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号:058-272-1111 (内線 2535)

E-mail: c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

121,913 千円 (前年度予算額:5,032 千円)

<財源内訳>

区分事業費		其		財源		内 訳					
		国 庫	分担金	使用料	財	産	中 W.L. A	7 0 114		1	般
		支出金	負担金	手数料	収	入	寄附金	その他	県 債	財	源
前年度	5,032	5,032	0	0		0	0	0	0		0
要求額	121, 913	121, 913	0	0		0	0	0	0		0
決定額											

2 要求内容

(1)要求の趣旨(現状と課題)

・災害時における災害拠点病院の医療提供機能を確保するため、必要な施設 整備に対して補助を行い、県内の災害医療体制の充実を図る。

(2) 事業内容

災害拠点病院が災害時に適切な医療を提供するために必要な施設の整備に係る経費を補助する。

• 災害拠点病院施設整備費補助金 121,913 千円

補 助 先:地域災害拠点病院(木沢記念病院)

整備内容:備蓄倉庫、非常用自家発電設備、受水槽、ヘリポート、

燃料タンク

事 業 費:469,560 千円

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助金 (医療提供体制施設整備交付金) の活用

補助率:国 0.33 (それ以外の整備)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	121, 913	災害拠点病院の施設整備に対する補助金
合 計	121, 913	

•	_					
۹Щ	_	么白	മ		\rightarrow	
仄	ᇨ	台共	U)	45	∕┖	

4 参考事項

(1)後年度の財政負担

・県の財政負担なし

事業評価調書

新	規	要	求	事	業	
継	続	要	求	事	業	

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内の災害拠点病院において、大規模災害時に多発する患者の受け入れ体制を整える。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始 前	指標の推移		現在値	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

〇指標を設定することができない場合の理由

当事業は、施設整備を行う災害拠点病院に対し国交付金による補助を行うものである。指標設定はそぐわない。

(前年度の取組)

・事業の活動内容(会議の開催、研修の参加人数等)

地域災害拠点病院施設整備事業を実施する1病院に対し、補助金を交付予 定。

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

地域災害拠点病院施設整備事業を実施する1病院について、災害医療体制 の充実のために必要な施設の整備が完了する予定。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か)

○:必要性が高い、△:必要性が低い

(評価)

災害時における災害拠点病院の医療提供能力の確保のため、必要 な施設整備を行うものであり、事業の必要性が高いと言える。

 \circ

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

○: 概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△:まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価)

整備を行うことで、災害時においても医療提供体制が維持できることが可能となる。

0

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

○:効率化は図られている、△:向上の余地がある

(評価)

事業実施主体において競争入札により経費を節減しており、効率 化が図られている。

0

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

各災害拠点病院にて、施設整備のみでなく定期的な訓練を実施していく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今 後どのように取り組むのか

今後も施設の整備を行う災害拠点病院については、引き続き整備を推進していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又	
は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や	
期待する効果 など	